

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	利用者の介護度の変化とともにADLの低下がみられ、一般的な家庭浴では湯船につかることができない利用者が数名ある。また、補助があれば何とか可能であるが時間がかかる、不安などの点から遠慮していると思われる利用者もある。	安全確保や不安・負担の軽減を最優先に、希望に沿った入浴を楽しんで頂けるように配慮する。	入浴に対する不安や、負担を軽減するために複数名での介助や、今ある補助具などを最大限活用する。個浴型の機械浴の導入も検討し、導入へとつなげたい。	すぐ
2	35	施設後方に土砂災害危険区域があることから、大雨の際などに警戒が必要。日中は、職員の誘導でなんとか避難できると思うが会談の仕様が出来る利用者はとても少なく専用の避難器具もないので困難である。さらに、夜間は1人体制なので応援の職員が到着するまで協力を得られる地域の方が確保できていない。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	無理に外へ出ようとはせず、垂直避難を推奨。また事業所内での防災訓練においてそれぞれの利用者がどの程度動けるのかや、援助方法について確認しておく。また、周辺住民や近隣在住の職員が到着するまでの時間や段取りの把握をする。	2ヶ月
3	49	新型コロナの影響により、積極的に外出をすることが難しくなっている。また、家族や地域の方の感染状況の確認も困難なため、支援を受けにくい状態にある。	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	予防接種の推奨と家族や協力者の体調把握などを行うとともに、感染予防対策も継続。リスク確認や支援方法の変更を検討するなどして、希望に応じた外出支援を行えるように努める。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。